

航 空 自 衛 隊 仕 様 書			
仕様書の 種 類	内容による分類	装 備 品 等 仕 様 書	
	性質による分類	個 別 仕 様 書	
物品番号		仕 様 書 番 号	
品 名 又は 件 名	防弾チョッキ, 基地警備用	C & L P S - 1 8 4 2 0 0 3 - 1	
		大臣 承認	令和 年 月 日
		作成	令和 5年12月11日
		改正	令和 6年 7月16日
			令和 年 月 日
作成部 隊等名	補 給 本 部		

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊で使用する防弾チョッキ, 基地警備用について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、C & L P S - Y 0 0 0 0 7 の 1.2 による。

1.3 種類

防弾チョッキ, 基地警備用の種類及び構成は、表 1 による。

なお、調達する防弾チョッキ, 基地警備用, 本体（以下，“本体”という。）及び防弾チョッキ, 基地警備用, 防弾板（以下，“防弾板”という。）の有無及びタイプ並びに数量は、調達要領指定書により指定する。

表 1 - 種類

種 類	物 品 番 号				
	防弾チョッキ, 基地 警備用	構 成			
		本 体		防弾板	
		Aタイプ	Bタイプ	Aタイプ	Bタイプ
大	-	-	-	-	-

1.4 製品の呼び方

製品の呼び方は、仕様書の名称、種類及び構成による。

例 防弾チョッキ，基地警備用，大

防弾チョッキ，基地警備用，本体（Aタイプ），大

1.5 引用文書等

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、引用文書に定める内容が、この仕様書に定める内容と相違する場合（法令等を除く。）は、この仕様書に定める内容が優先する。

a) 引用文書

1) 規格

J I S	K	6 4 0 0 - 2	軟質発泡材料－物理特性－第 2 部：硬さ及び圧縮応力－ひずみ特性の求め方
J I S	K	6 4 0 4 - 3	ゴム引布及びプラスチック引布試験方法－第 3 部：物理試験（応用）
J I S	K	7 2 0 1 - 2	プラスチック－酸素指数による燃焼性の試験方法－第 2 部：室温における試験
J I S	L	0 8 4 2	紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法
J I S	L	0 8 4 4	洗濯に対する染色堅ろう度試験方法
J I S	L	0 8 4 8	汗に対する染色堅ろう度試験方法
J I S	L	0 8 4 9	摩擦に対する染色堅ろう度試験方法
J I S	L	1 0 3 0 - 1	繊維製品の混用率試験方法－第 1 部：繊維鑑別
J I S	L	1 0 3 0 - 2	繊維製品の混用率試験方法－第 2 部：繊維混用率
J I S	L	1 0 9 1	繊維製品の燃焼性試験方法
J I S	L	1 0 9 2	繊維製品の防水性試験方法
J I S	L	1 0 9 6	織物及び編物の生地試験方法
J I S	L	2 5 1 1	ポリエステル縫糸
J I S	L	3 4 1 6	面ファスナ
N D S	Z	0 0 0 1	包装の総則
N D S	Z	8 0 1 1	角形銘板

2) 仕様書

C & L P S - Y 0 0 0 0 7 調達品等一般共通仕様書

3) 法令等

装備品等秘密の指定等に関する訓令（令和 6 年防衛省訓令第 1 0 号）

品名	防弾チョッキ，基地警備用
----	--------------

4) その他

実用新案登録第3093457号（15.2.12）

別冊 防弾チョッキ（基地警備用）細部要求事項の秘密区分内容（空幕計1秘第5-10号）

b) 関連文書

秘密保全に関する訓令（平成19年防衛省訓令第36号）

防衛装備庁における秘密保全に関する訓令（平成27年防衛装備庁訓令第26号）

2 製品に関する要求

本仕様書において，**A**～**S**により指定された内容は，別冊 防弾チョッキ（基地警備用）細部要求事項の秘密区分内容（以下，“空幕計1秘第5-10号”という。）による。

2.1 構成

構成は，表2による。

表2－構成

構成		数量	単位	備考	
本体	側地	前身頃	1	個	図1による。
		後身頃	1	個	図2による。
		肩当て	2	個	図1による。
		肩ベルト	2	個	図2による。
		内腹帯	2	個	図3による。
		外腹帯	2	個	図4による。
		前腹帯	1	個	図5による。
		接続帯	2	個	図1による。
		補助接続帯	2	個	図1による。
	耐弾材	前身頃	1	組	図6による。
		後身頃			図6による。
		肩当て			図6による。
外腹帯		図6による。			
防弾板		2	個	Aタイプは，図7による。 Bタイプは，図8による。	

品名	防弾チョッキ，基地警備用
----	--------------

2.2 材料

本体の材料は，表3～表5による。

表3－材料

区分		規格		用途
		Aタイプ	Bタイプ	
耐弾材	耐弾・防弾素材	空幕計1秘第5-10号の別表第1～3による。	空幕計1秘第5-10号の別表第4による。	耐弾材
	衝撃吸収シート	ポリカーボネート 厚さ2mm 直径2.75mmのハニカム構造	ポリオレフィン発泡体 厚さ3mm 見掛密度33 kg/m ³ の独立気泡構造	衝撃吸収材
	耐弾材収納袋	表4による。		耐弾材収納袋
覆布	表地	表	表5による。	前身頃，後身頃，肩当て，外腹帯，前腹帯
		裏	ナイロン100% 黒色又はOD色	
	裏地	ナイロン100% OD色		前身頃，後身頃，外腹帯
テープ		ポリエステル100% 二重平織 幅25mm 厚さ1.1mm OD色	ナイロン100% 二重平織 幅25mm 厚さ1.2mm OD色	防弾板固定部持出用，外腹帯部耐弾材収納ポケット持出用，前腹帯取付用，前身頃身体側装備品取付用

品名

防弾チョッキ，基地警備用

表3-材料(続き)

区分		規格		用途
		Aタイプ	Bタイプ	
テープ(続き)		ポリエステル 100% 平織 (中袋) 幅 25 mm 厚さ 3 mm OD色	ナイロン100% 平織(中袋) 幅 25 mm 厚さ 1.8 mm OD 色	運搬用取手部
		ポリエステル 100% 二重平 織 幅 36 mm 厚さ 1 mm OD色	ナイロン100% 二重平織 幅 38 mm 厚さ 1.3 mm OD 色	肩ベルト，接続帯
		ポリエステル 100% 二重平 織 幅 47 mm 厚さ 1 mm O D色	ナイロン100% 二重平織 幅 50 mm 厚さ 1.3 mm OD 色	肩ベルト(後身頃)
平ゴム		幅 75 mm 黒色		防弾板固定部，内腹帯
メッシュ		ポリエステル100% ダブルラ ッセル グレー色又はOD色		前身頃裏地，後身頃裏 地，肩当て裏
すべり止 め	表	塩化ビニール OD色		前身頃上部
	裏	綿・ポリエス テル混紡 O D色	ポリエステ ル・レーヨン 混紡 OD色	
面ファスナ		J I S L 3 4 1 6 ナイロン100% 幅 20 mm OD 色		肩当て部耐弾材挿入 口，外腹帯部耐弾材挿 入口
		J I S L 3 4 1 6 ナイロン100% 幅 25 mm OD 色		前身頃外側上部，前身 頃耐弾材挿入口脇，後 身頃耐弾材挿入口脇， 前腹帯取付テープ用

品名

防弾チョッキ，基地警備用

表3-材料(続き)

区分	規格		用途
	Aタイプ	Bタイプ	
面ファスナ(続き)	JIS L 3416 ナイロン100% 幅38mm OD色		前身頃肩ベルト取付部，後身頃耐弾材挿入口，肩当て，肩ベルト
	JIS L 3416 ナイロン100% 幅50mm OD色		前身頃耐弾材挿入口蓋，前身頃正面下部，肩ベルト(後身頃)，外腹帯バックル側調整部，接続帯，補助接続帯
	JIS L 3416 ナイロン100% 幅100mm OD色		前身頃外側下部，前身頃内側上部，前身頃内側下部，前身頃耐弾材挿入口蓋押さえ部，後身頃内側上部，後身頃腹帯・肩ベルト調整部，内腹帯，外腹帯バックル調整部，外腹帯背面調整部，前腹帯，接続帯，補助接続帯
	JIS L 3416 両面面ファスナ ナイロン100% 幅50mm 黒色		内腹帯
バックル	ポリアセタール樹脂製 ブラウン		外腹帯，肩ベルト，接続帯
縫い糸	JIS L 2511 ポリエステルスパン 8番	JIS L 2511 ポリエステルフィラメント 20番，30番	本縫い用
銘板	綿ブロード40番 白色 ほつれ止め防止加工		製品表示用
緩衝材	ウレタン 厚さ5mm		肩当て
緩衝材押さえ布	ナイロンタフタ		肩当て
パイプ	硬質塩化ビニル		運搬用取手部

品 名	防弾チョッキ, 基地警備用
-----	---------------

表 4 - 耐弾材収納袋

区分		規定		試験方法
		Aタイプ	Bタイプ	
繊維混用率 (%)		ナイロン 100		JIS L 1030-1 及び JIS L 1030-2 による。
見掛番手	たて	210 d	80±15 dtex	JIS L 1096 A法 による。
	よこ	210 d	80±15 dtex	
組織		平織		
密度 (本/2.54 cm)	たて	58 以上	100 以上	
	よこ	53 以上	70 以上	
質量 (g/m ²)		360 以下		
引張強さ (N)	たて	730 以上	500 以上	JIS L 1096 A法 (ストリップ法) による。 幅 5 cm つかみ間隔 20 cm 引張速度 20 cm/分
	よこ	680 以上	400 以上	
耐水度 (kPa)		500 以上		JIS K 6404-3 による。
色相		黒色又はOD色		
注記 生地裏面は, ウレタン加工を施す。				

表 5 - 表地

区分	規定		試験方法
	Aタイプ	Bタイプ	
繊維混用率 (%)	ポリエステル 100	ナイロン 100	JIS L 1030-1 及び JIS L 1030-2 による。

品 名	防弾チョッキ，基地警備用
-----	--------------

表 5－表地（続き）

区分		規定		試験方法
		Aタイプ	Bタイプ	
見掛番手 (dtex)	たて	300/3	560±15	J I S L 1 0 9 6 A法による。
	よこ	300/3	565±15	
組織		平織		
密度（本/2.54 cm）	たて	35 以上	45 以上	
	よこ	30 以上	36 以上	
生地幅（cm）		120 以上		
質量（g/m ² ）		350 以下	280 以下	
引張強さ（N）	たて	2 500 以上	2 100 以上	
	よこ	2 000 以上	1 670 以上	
引裂強さ（N）	たて	80 以上		
	よこ	85 以上		
染色堅牢度 (級)	洗濯	4 以上		J I S L 0 8 4 4 A-2法に よる。
	摩擦 (乾燥)	4 以上		J I S L 0 8 4 9 II型によ る。
	汗	4 以上		J I S L 0 8 4 8 A法による。
耐水度（kPa）		8 以上		J I S L 1 0 9
撥水度（級）		4 以上		2 による。
色相		OD色		

2.3 加工・構造

2.3.1 本体

a) 裁断

裁断は、図 1～図 6 により適正に行い、各部の接合部以外にはぎをしてはならない。また、バイアス裁ちをしてはならない。

b) 耐弾材

耐弾材の加工は、次による。

- 1) 耐弾材の積層枚数は、耐弾・防弾素材と衝撃吸収シートとを合わせて、Aタイプは[A]、Bタイプは[B]とする。
 - 2) 耐弾材の裁断寸法及び形状は、図6によって適正に行う。
 - 3) 耐弾材の積層要領は、次による。
 - 3.1) Aタイプ
身体外側より空幕計1秘第5-10号の別表第1で示す素材を[C]とし、空幕計1秘第5-10号の別表第2で示す素材を[D]、衝撃吸収シートを1枚、空幕計1秘第5-10号の別表第3で示す素材を[E]重ねたものを防水加工を施した耐弾材収納袋に入れる。
 - 3.2) Bタイプ
身体側より衝撃吸収シートを1枚、空幕計1秘第5-10号の別表第4に示す素材を[F]重ねたものを、防水加工を施した耐弾材収納袋に入れる。
- c) 縫製要領
縫製要領は、次によるほか、図1～図6による。
- 1) 耐弾材収納袋以外の縫い合わせは、全てミシン縫いとする。
 - 2) 各部の縫い代は、原則として1 cm以上とする。
 - 3) 針数は、3 cm間に6針以上とする。
 - 4) 縫い始め及び縫い終わりは、返し縫いを完全に行う。また、強度を必要とする箇所にはかんぬき縫いにて、堅固に縫い付ける。
 - 5) 縫い飛び及び縫い外れがなく、糸調子が優良で、縫い目曲がりが目立ってはならない。
 - 6) 仕上げは、糸くずなどを取り、丁寧に仕上げる。
 - 7) 前身頃、前腹帯及び外腹帯には、レーザーによるスリット加工を施し、スリットの長さは28 mm、スリット同士の間隔は10 mmを基準とする。また、スリット部の生地は、レーザーによりほつれ等がないよう加工する。
 - 8) レーザースリット部の引裂き強度は、公的検査機関において試験を実施する。覆布に横3列以上のスリットを施したものを試験片とし、上部を固定し両端以外のスリットに前身頃身体側装備品取付用のテープを試験片として通し引っ掛けて下方向に200 mm/分の引張速度で引き、400 Nの力を掛けたときに破断しない。
- d) 構造
- 1) 一人で着用可能であり、耐弾材収納袋に挿入された耐弾材を前・後身頃内側の挿入口、外腹帯部両脇の耐弾材挿入口及び肩当て外側耐弾材挿入口より挿入可能である。また、前・後身頃内側の挿入口及び外腹帯部両脇の耐弾材挿入口には持出用にテープを取付け、容易に挿入口の開閉が可能な構造とする。

- 2) 肩ベルト，内腹帯及び外腹帯の末端を後身頃内部に挿入し，後身頃に縫い付けられた面ファスナの任意の箇所に貼付けることでサイズ調整が可能である。この際，肩ベルトは後身頃上部より後身頃内部の肩ベルト誘導部を通して後身頃内部に挿入可能な構造とする。
- 3) 接続帯又は補助接続帯の末端を前身頃下部に縫い付けられた面ファスナの任意の箇所に貼付けることでサイズ調整が可能である。
- 4) 着脱用バックルは，筒形で2パートをかみ合わせて固定する構造とし，引手を引くことで瞬時に脱装可能かつ，再着装が容易に実施可能である。
- 5) 装着装備品の本体への取付け機能は，特許庁所轄の知的財産権（**実用新案登録第3093457号**）又は同等以上の技術を使用する。
- 6) 本体内部（前・後身頃）に耐弾材収納部より身体外側に防弾板を下方向から挿入して左右及び上下から面ファスナ及び平ゴムで固定可能な構造とする。さらに，この平ゴムの先端には持出用にテープを1本ループさせたものを取り付ける。なお，いずれのタイプの防弾板もいずれのタイプの本体の前身頃及び後身頃のポケットに収納可能とする。
- 7) 耐弾材は，射撃面の判別を可能にするため，耐弾材収納袋外側の身体側に“身体側”と印字する。
- 8) **図9**に指定する箇所のスリットについては，裏地にもスリットを入れ，肩テープ挿入部と内側でつなげることで，無線機等のコードを通すことが可能である。
- 9) 着脱用バックルを使用しなくても補助接続帯と肩ベルトを使用して着用可能である。
- 10) 覆布は，表地の2種類の生地を貼り合わせる。

2.3.2 防弾板

a) 一般構造

防弾板の一般構造は次による。

1) Aタイプ

G及び**H**を樹脂加圧成型した構造とする。

2) Bタイプ

Iを**J**し加圧成型したものに，**K**の**L**を接着し，**M**の**N**を貼付した構造とする。

b) 外装（被覆）

防弾板の外装（被覆）は次による。

1) Aタイプ

防弾板を外装で覆う構造とし，外装は次による。

品 名	防弾チョッキ, 基地警備用
-----	---------------

1.1) 外装生地は, 難燃性を持ち, 紫外線を遮蔽し, かつ防水加工するほか, 表6による。

1.2) 防弾板の外周は, 落下時の衝撃を緩衝する表7の緩衝材で加工する。

2) Bタイプ

防弾板を○で被覆する。

表6-外装

区分	規定	試験方法	
繊維混用率 (%)	ナイロン 100	JIS L 1030-1 及び JIS L 1030-2 による。	
見掛番手 (dtex)	たて	JIS L 1096 A法 による。	
	よこ		
組織	平織		
密度 (本/10本)	たて		550±16
	よこ		600±18
質量 (g/m ²)	240 以下		
耐水度 (mm)	500 以上	JIS L 1092 による。	
摩耗強さ	5 000 以上	JIS L 1096 A-1 法による。 耐水研磨紙 P400C-CW 押圧荷重 4.45N	
引張強さ (N)	たて	2 600 以上	
	よこ	2 600 以上	
染色堅牢度 (級)	洗濯	4 以上	
	耐光	4 以上	
	汗	4 以上	
		JIS L 0844 A-2 法による。	
		JIS L 0842 第3法による。	
		JIS L 0848 A法 による。	

品 名	防弾チョッキ，基地警備用
-----	--------------

表 6 - 外装 (続 き)

区分		規定	試験方法	
燃焼性	1分加熱	残炎時間 (秒)	0	
		残炎時間+残じん時間 (秒)	0	
		燃焼面積 (m ²)	10以下	
		燃焼長さ (cm)	-	
	着炎後3秒加熱	残炎時間 (秒)	3以下	
		残炎時間+残じん時間 (秒)	3以下	
		燃焼面積 (m ²)	20以下	
		燃焼長さ (cm)	-	
	区分		3以上	
	限界酸素指数		28以上	JIS K 7201-2 酸素指数の決定 50 mm 以上燃焼し続けたとき 点火器の熱源 天然ガス
色相		黒色		
加工方法		防水合成樹脂 コーティング		

表 7 - 緩衝材

区分	規定	試験方法
材料	高密度ポリウレタンフォーム	
硬さ (kPa)	65以上	JIS K 6400-2 D法による。
厚さ (mm)	10 ± 1	-

品 名

防弾チョッキ，基地警備用

2.4 形状・寸法

形状・寸法は，次による。

2.4.1 本体

本体の形状・寸法は図1～図6によるほか，チョッキ式とし，両脇は面ファスナ及び平ゴムにて身体を固定する。

2.4.2 防弾板

防弾板の形状・寸法は，Aタイプは図7に，BタイプはSmall Arms Protective Insert (SAPI)のMサイズに準拠し，図8による。

2.5 質量

質量は，次による。

- a) 本体の質量は，4.1 kg 以下とする。
- b) 防弾板の質量は，1 枚あたり 2.8 kg 以下とする。

2.6 外観・性能

2.6.1 外観

外観は，仕上がりが優良で著しい汚れ，破損，縫合部の糸切れ，変形，亀裂など使用上有害な欠陥があってはならない。

2.6.2 耐弾性能

耐弾性能は，次による。

- a) 本体の耐弾性能は，**P**とする。
- b) 防弾板の耐弾性能は，本体と重ねて使用し，**Q**及び**R**とする。

2.7 製品の表示

2.7.1 銘板

銘板は，図10に示す様式のを図2に示す位置及び防弾板の裏側に取り付ける。

単位 mm

航空自衛隊 		60
物品番号	a)	
品名	b)	
納入年度	c)	
契約業者	d)	
縫製（製造）業者	e)	
修補等請求期限	f)	
所属		
30	60	

注記1 銘板の枠及び記載事項は、黒でにじみ及び退色しにくいものを用いて、鮮明に押印又は印刷する。

注記2 銘板の用字及び書体は、NDS Z 8011による。

注記3 寸法は、基準を示す。

注^{a)} 該当する物品番号を記入する。

注^{b)} 該当する品名（製品の呼び方）を記入する。

注^{c)} 納入年度を記入する。

例 2025年度

注^{d)} 契約の相手方の名称又はその略号を記入する。

注^{e)} 縫製（製造）業者の名称又はその略号を記入する。

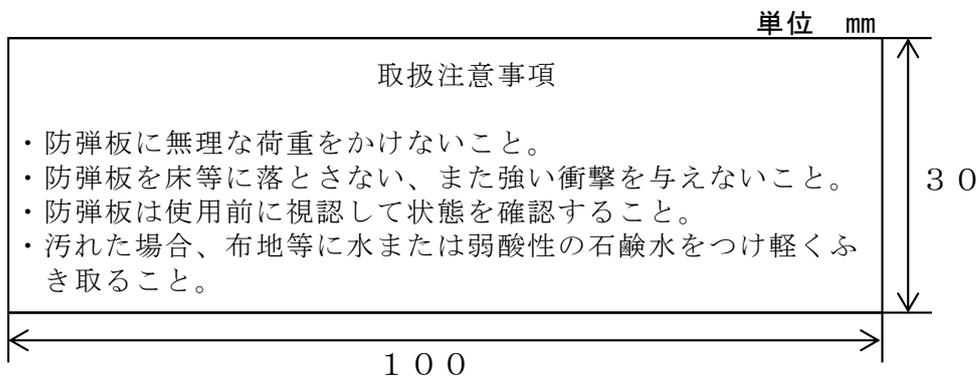
注^{f)} 契約不適合の修補等請求期限を記入する。

例 2026年3月

図10－銘板

2.7.2 取扱注意事項

取扱注意事項の表示は、図11に示す様式のものを防弾板の裏側に取り付ける。



注記1 枠及び記載事項は、黒でにじみ及び退色しにくいものを用いて、鮮明に押印又は印刷する。

注記2 銘板の用字及び書体は、NDS Z 8011による。

注記3 寸法は、基準を示す。

図11－取扱注意事項

3 品質保証

3.1 監督・検査

監督及び検査は、契約担当官等が定める監督及び検査実施要領によるほか、表8による。ただし、次の各号に該当する場合は、耐弾性能検査を省略することができる。

a) 本体及び防弾板の製造業者が同一年度において同様の場合

品 名	防弾チョッキ，基地警備用
-----	--------------

- b) 耐弾材及び防弾板の基材が同一年度において同様の場合
c) 耐弾材及び防弾板の加工方法又は工程が同一年度において同様の場合

表 8－検査

検査項目	試験方法	判定基準
材料	社内試験及び公的検査機関による試験 ^{a)}	2.2による。
加工・構造	社内試験による。	2.3による。
形状・寸法		2.4による。
質量		2.5による。
外観		2.6.1による。
耐弾性能	公的検査機関の試験による。 ^{b)}	2.6.2による。
製品の表示	社内試験による。	2.7による。
外装の表示		4.2による。
注 ^{a)} 材料のうち覆布及び耐弾・防弾素材については、公的検査機関において行う。		
注 ^{b)} 耐弾性能については、 S をした公的検査機関の証明書による書類審査とする。		

4 出荷条件

4.1 包装

包装は、製品1EAをポリエチレン袋に入れ、口を密閉し段ボール箱に入れ軽保護包装とする。

4.2 外装の表示

外装の表示は、NDS Z 0001による。ただし、内容品表示の内容は、次のとおりとする。

- a) 調達要求番号
- b) 物品番号
- c) 品名(製品の呼び方)
- d) 数量
- e) 納入年度(例 2025年度)
- f) 契約の相手方の名称又はその略号

5 その他の指示

5.1 提出書類

5.1.1 類別原資料

調達要領指定書により指定する場合を除き、C&LPS-Y00007の4.1.1による。

品 名	防弾チョッキ，基地警備用
-----	--------------

5.1.2 取扱説明書

調達要領指定書により指定する場合を除き，本体1着につき取扱説明書1部を包装袋内に入れる。

5.2 貸付文書

契約の相手方は，C&LPS-Y00007の4.2.2b)に基づき，事前に官側と調整のうえ，表9のほか，本契約の履行に必要な資料等について，無償で貸付けを受けることが可能である。また，貸付けを受ける資料等は，貸付時の最新版とし，貸付後に更新された場合は，更新版の貸付けを受けることが可能である。

なお，貸付場所及び返納場所については，官側の指定する場所とし，貸付時期及び貸付期間は，官側との調整による。

表9－貸付文書

番号	品 名	数 量 (部)	秘等区分
1	別冊 防弾チョッキ（基地警備用）細部要求事項の秘密 区分内容（空幕計1秘第5－10号）	1	秘

5.3 承認用見本

契約の相手方は，C&LPS-Y00007の4.3に基づき，製造に先立ち契約担当官等に承認用見本（本体のみ）1着を提出し，外観・形状及び色について承認を受ける。

5.4 秘密保全

秘密保全は，C&LPS-Y00007の4.5による。

5.5 本製造の実施体制

契約の相手方は，本製造の実施に当たって次の体制を確保し，これを変更する場合には，事前に官側と協議する。

- a) 履行に必要な情報を取り扱うにふさわしい契約を履行する業務に従事する個人（以下，“業務従事者”という。）を確保する。
- b) a)の業務従事者が，本製品の製造に要求する特定の経験，資格，業績等を有する。
- c) a)の業務従事者が，b)に掲げるもののほか，履行に必要な若しくは有用な，又は背景となる経歴，知見，資格，語学（母語及び外国語能力），文化的背景（国籍等），業績等を有する。
- d) c)の業務従事者が他の手持ち業務等との関係において履行に必要な業務所要に対応できる態勢にある。

5.6 情報保全

契約の相手方は、この契約の履行に際し知り得た秘密等（**装備品等秘密の指定等に関する訓令第2条**に規定する秘密）の取扱いに当たっては、この契約に適用される各特約条項に基づき、適切に管理する。この際、特に、秘密等の取扱いについては、次の履行体制を確保し、これを変更した場合には、遅滞なく官側に通知する。

- a) 官側の同意を得て指定した取扱者以外の者に取り扱わせないことを保障する履行体制
- b) 官側が書面により個別に許可した場合を除き、契約の相手方に係る親会社、地域統括会社、ブランド・ライセンサー、フランチャイザー、コンサルタントその他の契約相手方に対して指導、監督、業務支援、助言、監査等を行う者を含む一切の契約の相手方以外の者に対して伝達又は漏えいされないことを保障する履行体制

5.7 装備品等不具合報告（UR）対策

装備品等不具合報告（UR）対策は、**C&LPS-Y00007**の**4.4**による。

5.8 技術変更提案（ECP）

技術変更提案（ECP）は、**C&LPS-Y00007**の**4.7**による。

5.9 仕様書に関する疑義

この仕様書に疑義が生じた場合は、契約担当官等と協議する。

品名

防弾チョッキ, 基地警備用

番号	品名
①	表地
②	裏地
③	メッシュ
④	テープ 1.1(1.2)×25mm
⑤	テープ 1.0×36(38)mm
⑥	すべり止め
⑦	面ファスナ 100mm幅
⑧	面ファスナ 50mm幅
⑨	面ファスナ 38mm幅
⑩	面ファスナ 25mm幅
⑪	面ファスナ 20mm幅
⑫	着脱用バックル
⑬	緩衝材
⑭	緩衝材押さえ布

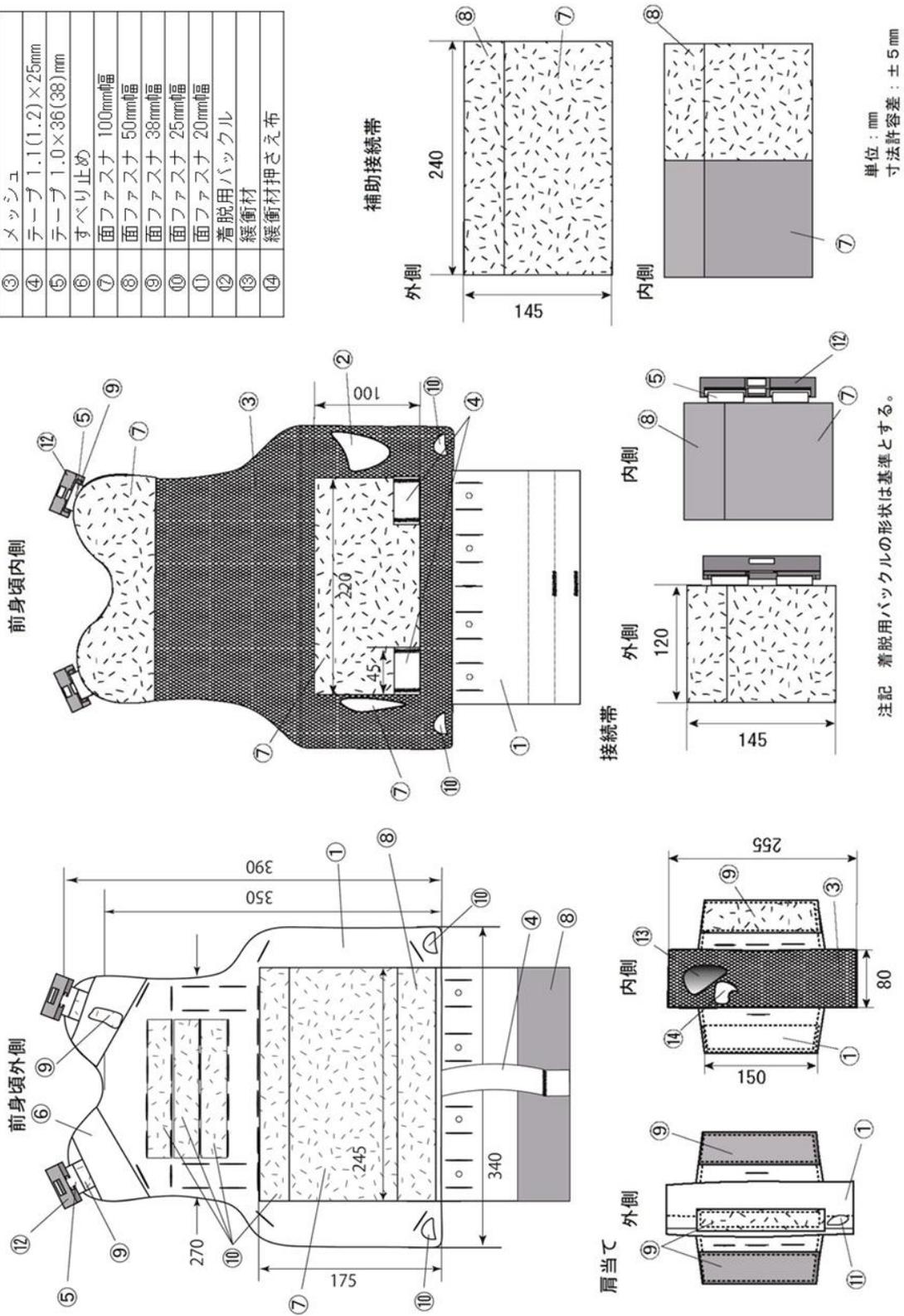
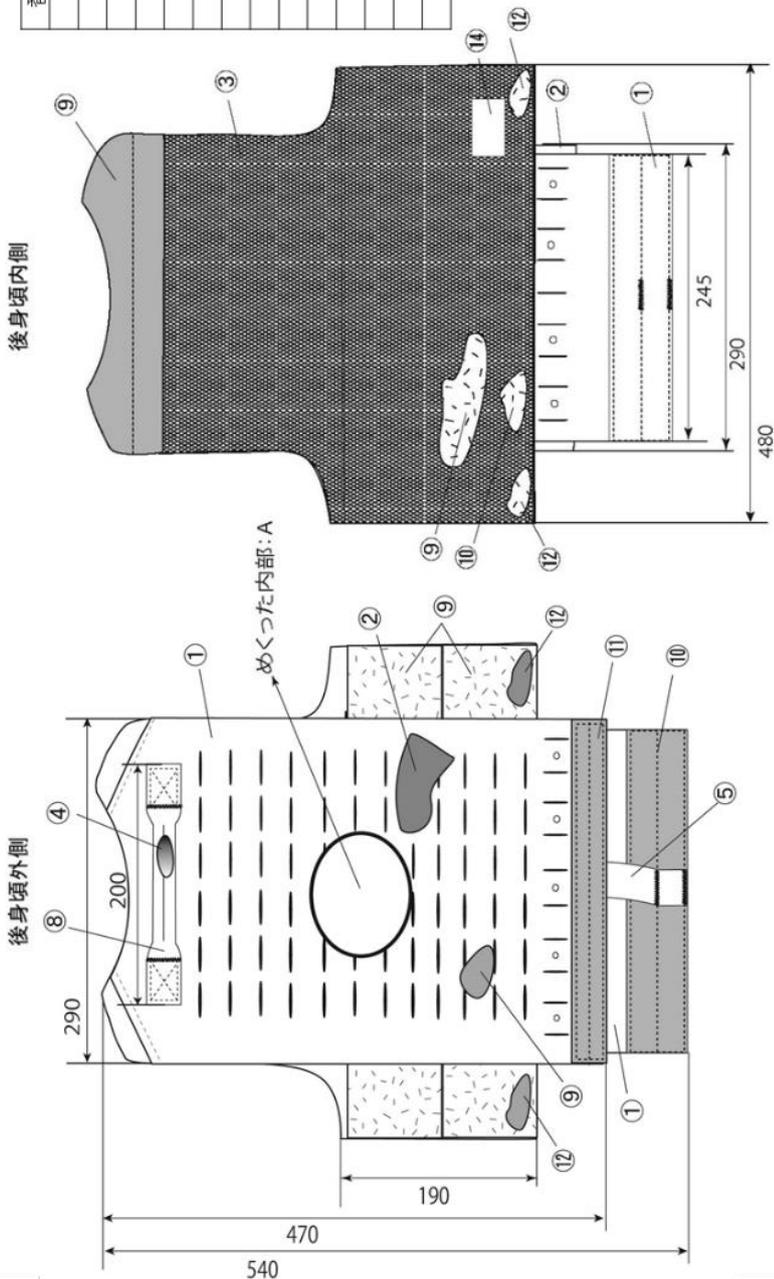
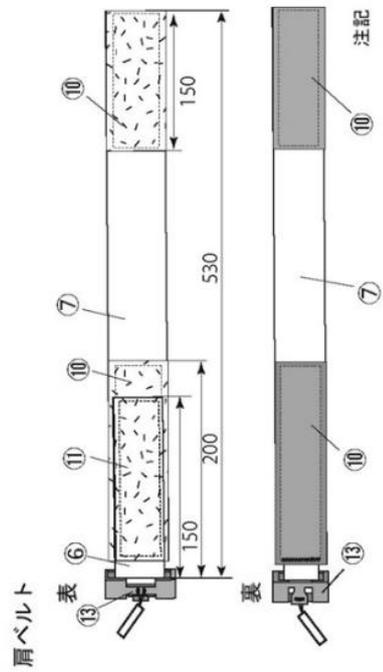
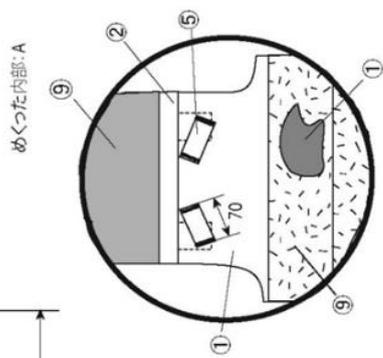


図1 - 形状・寸法 (前身頃・肩当て・接続帯・補助接続帯)

番号	品名
①	表地
②	裏地
③	メッシュ
④	パイプ
⑤	テープ 1.1(1.2)×25mm
⑥	テープ 1.0×36(38)mm
⑦	テープ 1.0(1.3)×47(50)mm
⑧	テープ 3.0(1.8)×25mm
⑨	面ファスナ 100mm幅
⑩	面ファスナ 50mm幅
⑪	面ファスナ 38mm幅
⑫	面ファスナ 25mm幅
⑬	着脱用バックル
⑭	銘板



単位: mm
寸法許容差: ±5 mm

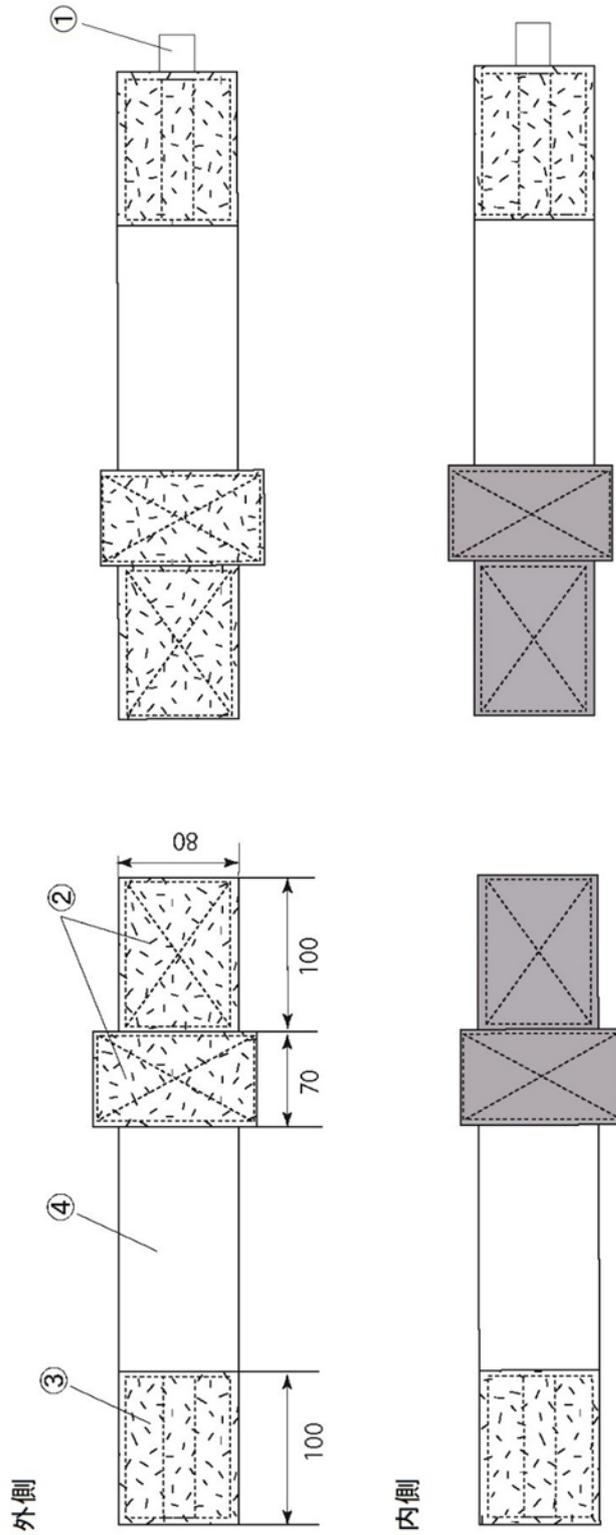


注記 着脱用バックルの形状は基準とする。

図2-形状・寸法(後身頃・肩ベルト)

品名

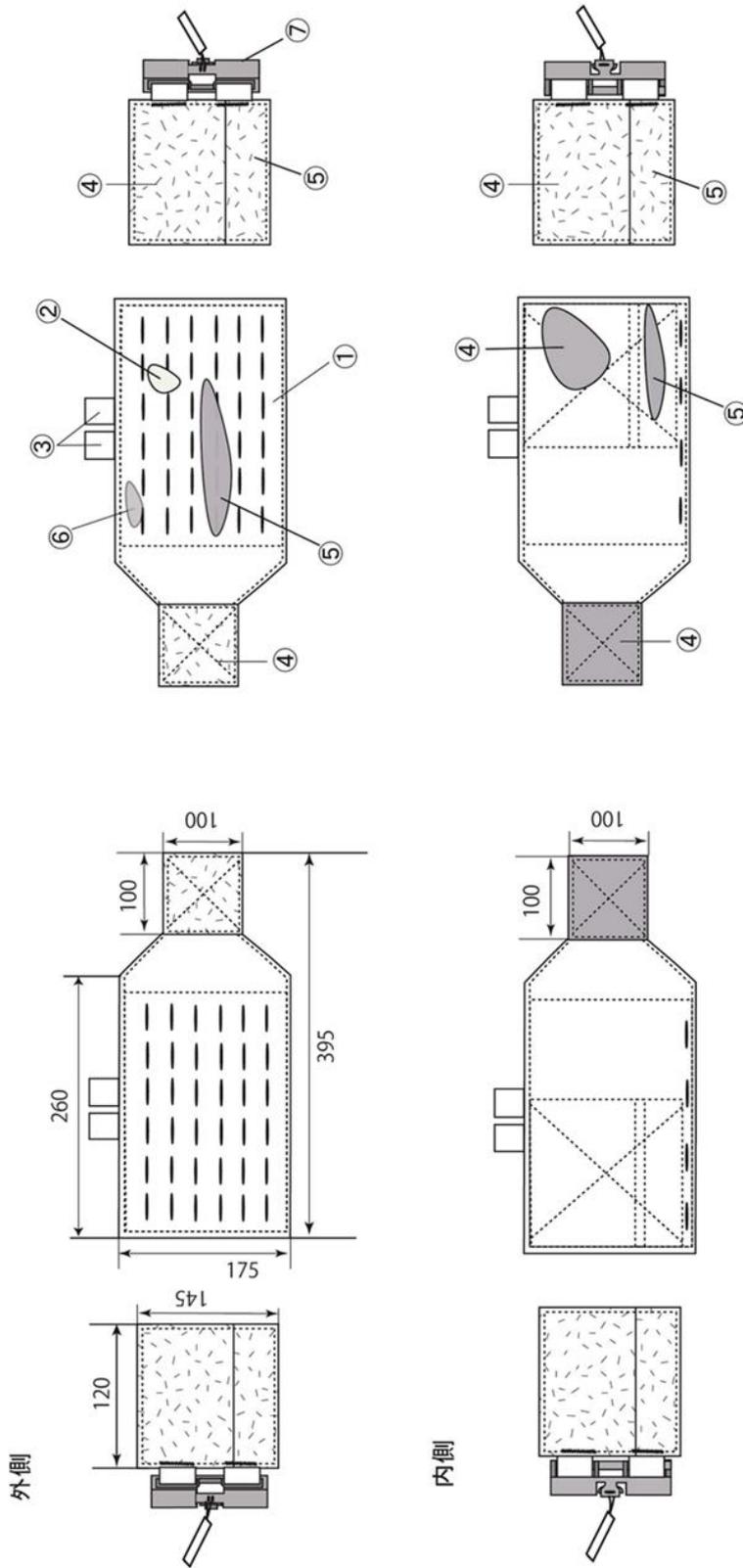
防弾チョッキ, 基地警備用



単位: mm
寸法許容差: ±5mm

番号	品名
①	テープ 1.1(1.2)×25mm
②	面ファスナ 100mm幅
③	面ファスナ 50mm幅 (オス・メス兼用)
④	平ゴム

図3-形状・寸法 (内腹帯)



注記 着脱用バックルの形状は基準とする。

単位: mm
寸法許容差: ± 5 mm

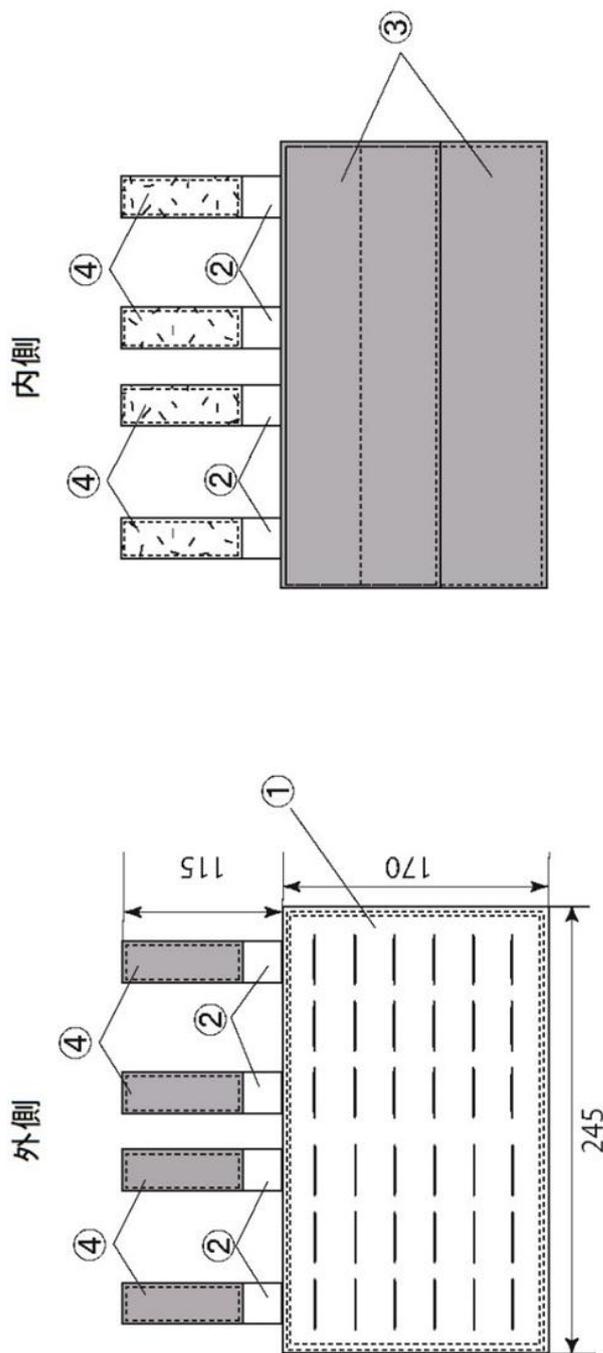
番号	品名
①	表地
②	裏地
③	テープ 1.1(1.2)×25mm
④	面ファスナ 100mm幅
⑤	面ファスナ 50mm幅
⑥	面ファスナ 20mm幅
⑦	着脱用バックル

図4-形状・寸法(外腹帯)

品名

防弾チョッキ, 基地警備用

番号	品名
①	表地
②	テープ 1.1(1.2)×25mm
③	面ファスナ 100mm幅
④	面ファスナ 25mm幅



単位: mm
寸法許容差: ± 5 mm

図5 - 形状・寸法 (前腹帯)

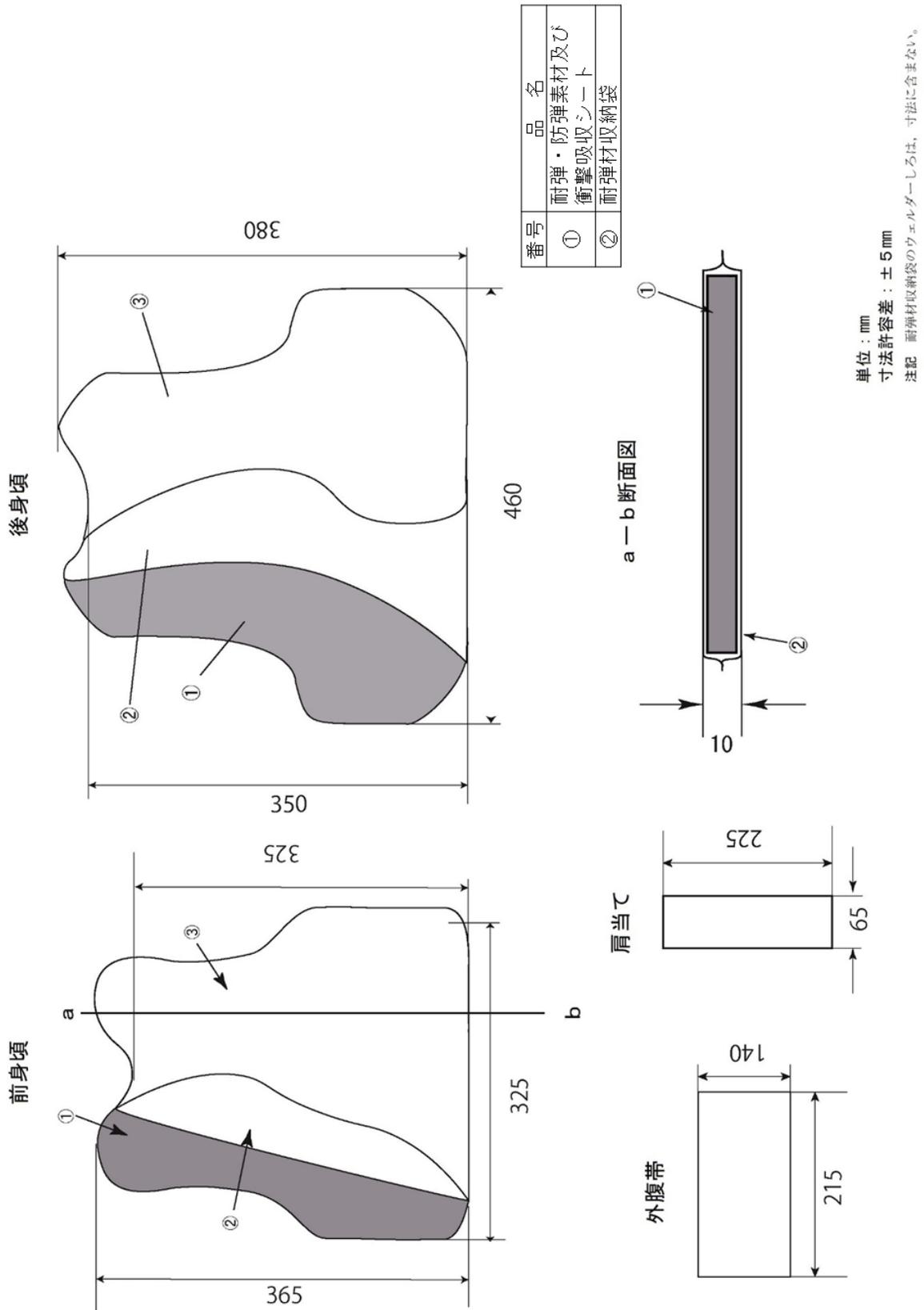


図6-形状・寸法(耐弾材)

品名

防弾チョッキ, 基地警備用

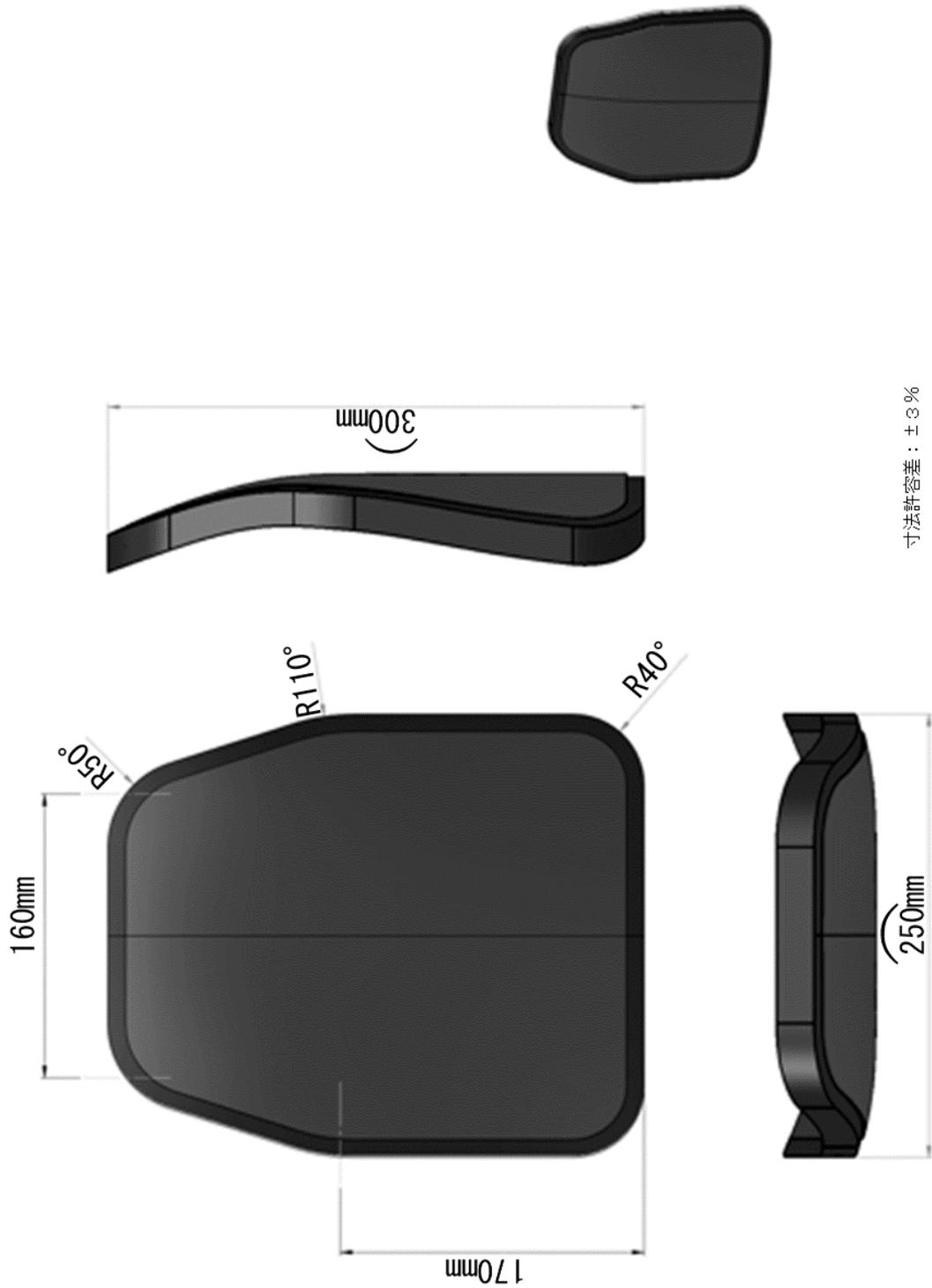
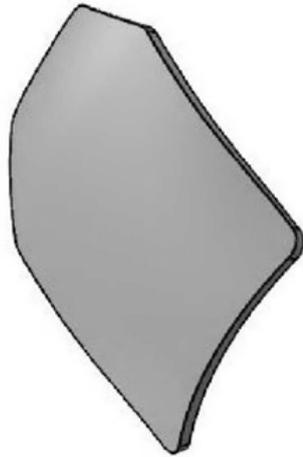


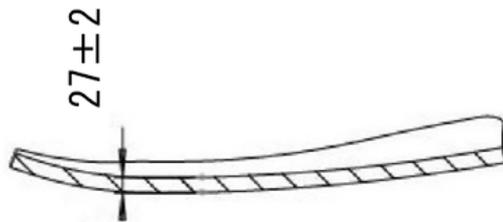
図7ー形状・寸法（防弾板（Aタイプ））

品名

防弾チョッキ, 基地警備用



外観



A-A 断面

単位: mm

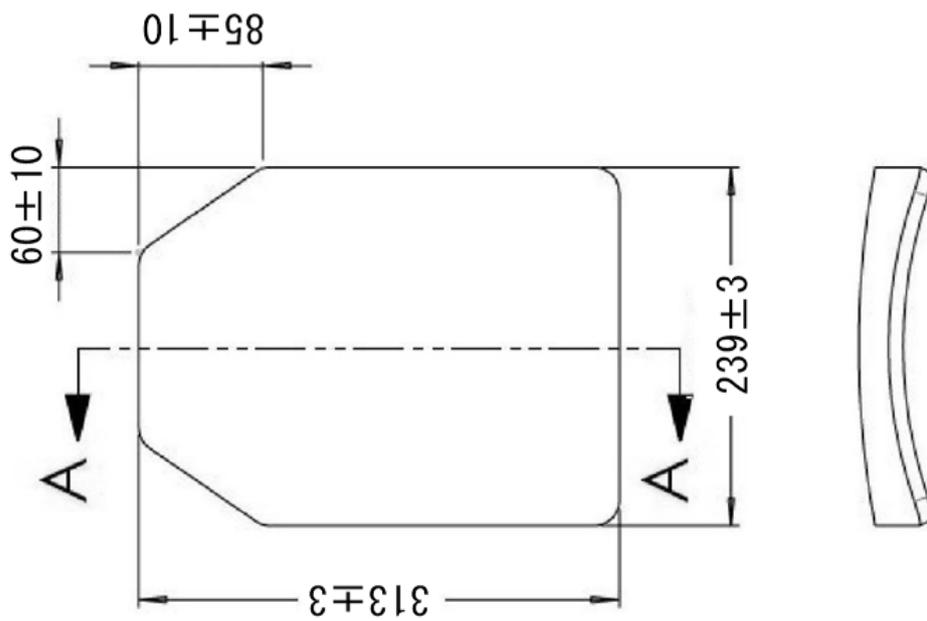


図8-形状・寸法 (防弾板 (Bタイプ))

品名

防弾チョッキ, 基地警備用

前身頃外側

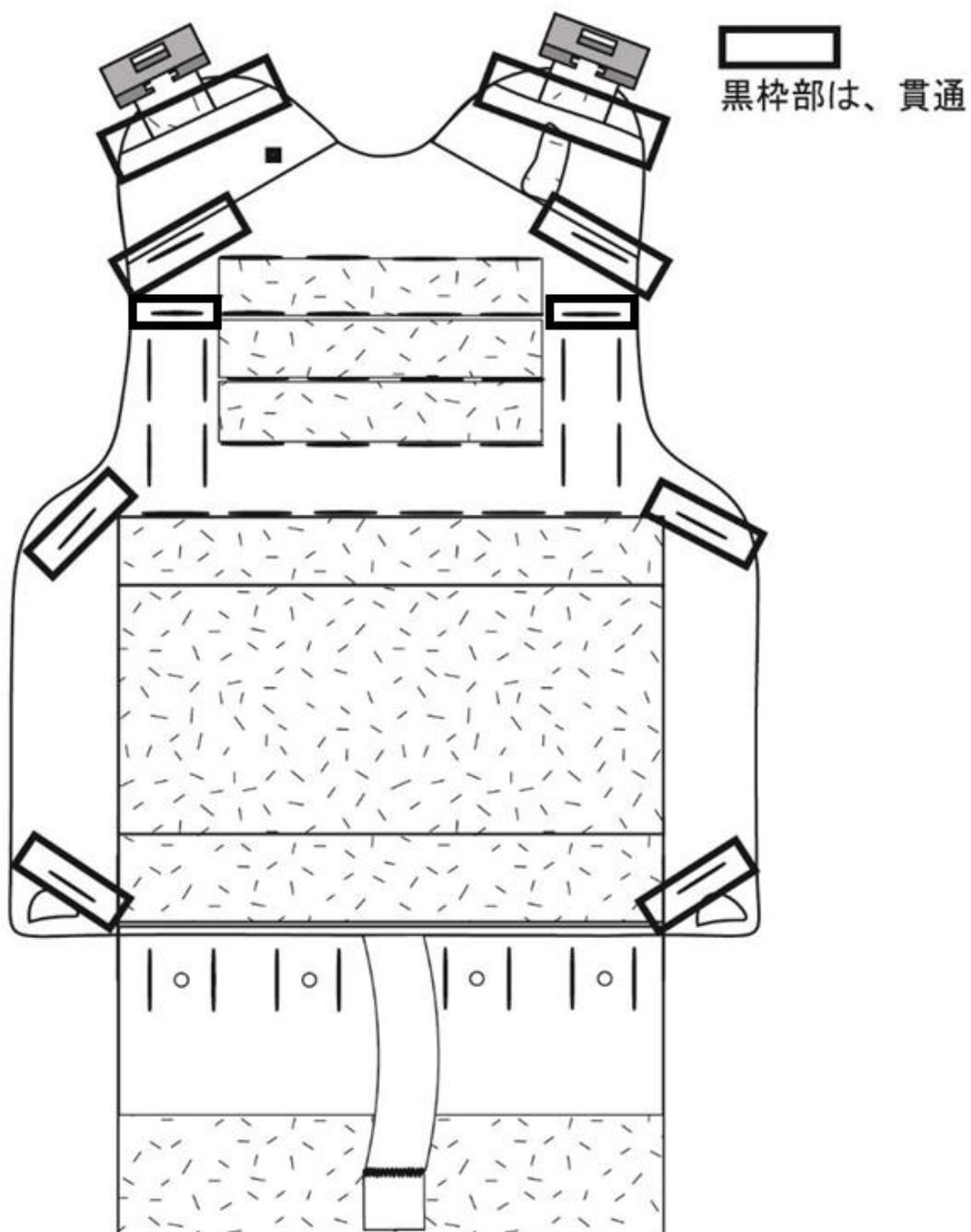


図9 - 本体前身頃貫通部